



感謝状受賞

令和4年1月28日、株式会社J-POWERハイテック小出事業所長 菊池 進様より感謝状を頂きました。これは工事部の三田さんが奥只見発電所 整線工事作業中に配線の断線疑いを発見したことによるものです。日頃より周囲に注意を払い作業を行っている技術力の賜物であり、電力の安定供給に大きな貢献をしたとして感謝状を頂きました。

「Dx」を推進して、新たな価値を見出そう

常務取締役 金田 俊文

近年、デジタル技術の発展や IT の進化により、「Dx」化が多くの企業運営に検討・導入されています。このことからあらゆる業種において新規参入企業が登場し、競争力の維持・強化(優位性)を目指しています。

「Dx」(デジタルトランスフォーメーション)とは、デジタル技術の活用により、組織やビジネスを外部環境の変化(技術革新)に適合させ、企業の在り方や働く人々の生活をより良いものに変革することです。「Dx」化の効果は①企業競争力の向上(企業優位性の確立)②業務効率化による生産性の向上(業務の削減や作業効率の大幅な向上)でより付加価値が高い業務が期待出来、社内をグレードアップすることとなり多くのメリットが得られます。

社内においては、まず既存システムの IT 化が必要不可欠です。①自社内のアナログ的業務を IT 化

(情報/業務プロセス(情報共有/記録・申請/承認)・顧客管理・請求管理他をデジタル形式)②業務の自動化(年間行事・各種集計表他)することが「Dx」への取組の第一歩です。経営計画方針を確認して、お客様からのご要望(課題・意見)を汲み取り、周囲環境ニーズを基に、データとデジタル技術を活用して、新しいサービスの開発推進とコスト削減等を全部門で実施しましょう。一方、働き方改革推進の実現(業務時間の削減で残業時間の減少)デジタル化業務で離れた場所で仕事が可能となり、リモートワークの推進にも繋がります。その結果、より社内の業務効率化となり周囲環境も豊かになります。全従業員が一丸となって「攻めの姿勢」で取り組みましょう。

まだまだ新型コロナの収束は程遠く、感染を拡大させないため、基本的な感染防止策(マスクの着用、手洗い、三密の回避)の徹底を自ら心掛けましょう。

大沢野変電所 遮断機取替工事

工事部 吉森 繁



大沢野変電所で遮断器取替工事を昨年12月に竣工しました。作業としては遮断器2台と断路器2台の取替工事でした。でんそくとしては、この種の工事は以前から受注していましたが、客先様から制御ケーブル関係工事のみの仕様書で発注されました。しかし近年より客先様の方針が変わり遮断器取替に伴う架線(変電所内送電線)の修繕および旧遮断器他の撤去一括の仕様書で発注となりました。遮断器取替工事としては制御ケーブル工事としての実績はありますが架線や遮断器撤去の工種の実績は最近では全くなく、作業の手順や詳細が理解できなくて最初は漠然とした工程を組むしかできま

せんでした。ですが他の電力会社でこの種の工事を以前施工していましたのでベテラン経験者にいろいろな事を教えて頂き、高圧充電部に近い高所作業もありましたが、北陸電力送配電(株)様の立会者のご指導のもとで事故や災害なく無事終えることができました。施工してですが安全を優先すれば全てにおいて予定通りに終わると一番感じました。また、工事部は平均年齢が高く若い世代が少ないですが、仕事での経験は会社の財産でもあり責任者として立ち立ちできるような技術、仕事の考え方を若い世代に伝えなければと感じました。



フィロソフィ研修会

「見えてくるまで考え抜く」に参加して



工事部 谷島 蒼河

2021年度フィロソフィ研修会が2日間にわたって開催されました。1日目は設計課 今井課長、2日目は組立課 西田課課長から「見えてくるまで考え抜く」についての経験談をお話していただきました。

今回は2日目に参加された工事部 谷島さんに感想をいただきました。

フィロソフィ浸透活動は、現在、人間学を学ぶ月刊誌『致知』を教科書に、先達の教えを共有し、2ヶ月毎に意見交換を行っています。意見交換会は様々な感想を認め合う『美点凝視』でコミュニケーションを取り楽しく進めています。



今回、西田さんの経験談、他部署の方々や普段交流の少ない先輩方の話を聞くことで、様々なことを学ぶことができました。

西田さんの経験談では事前準備の大切さが強く印象に残りました。事前準備の中には必要な材料、工具だけでなく、実際の作業のシミュレーションが大切と知りました。シミュレーションを繰り返すことにより、限られた時間の中で焦らず作業することができるそうです。また、グループ内での意見交換や先輩方の経験も交えた話を聞くことでより多くのことに気付き、学ぶことができました。

今回のフィロソフィ研修会で学んだことの中には、経験の浅い自分ではまだ難しいものがたくさんありました。まずは、様々なことを先輩に教えていただきながら経験を積み、先を見通し、準備、作業できるように訓練していこうと思えました。



「私の提案」インフォメーション 『優秀改善賞』

11月 下小鳥発電所ブレーキ搬出用
持ち上げ治具作成・取付け
工事部 谷井 明夫
(提案推進委員会)



「みそっかす」
岩波書店
幸田 文/著

幸田露伴の娘、幸田 文の随筆です。本人の幼少期(主に小学校低学年頃)のエピソードが綴られています。

幼少期の家族、兄弟、学友との関わりや、その時の自分の感情等子供の目を通したままの状態です。後年(30歳半ば)に記憶を辿って書かれたとは思えない風景や登場人物の細かい描写は、やはり、ただの人ではないと感じました。

私も自分の小学生の頃の思い出を思い返してみようとしたのですが、2つしか思い出せず、それも特別なことなのに、その時の背景等はずっと思い出せませんでした。勿論、日常的事は全然覚えていません。

「みそっかす」の他にも、父についての「こんなこと」や、映像化された「おとうと」が有名です。

興味のある人は総務部に本がありますので、貸出します。(M.T)



～編集後記～



新年が始まったばかりなのにケガをしてしまい、新年そうそうついでないわ…と落ち込む私。そんな私に悪いことがあったあとはいいことしかありませんよと励ましのお言葉。神の御言葉! そうだ、起きてしまったことにくよくよしても仕方がない、もっと前向きに考えよう。そう考えると、ケガをしてわかったこと、改めて感じたこともたくさんあったな…。災い転じて福となすという言葉もありますが、あの失敗があったお陰で今があるということがある。ということは、総じてラッキーなのだそうです。心をポジティブに。そう考えるとすべてがラッキーにまわっていくそうです。でもやっぱり時間を戻せるものならケガをする前の時間に戻したい…と思ってしまうのですが…(笑) (K.A)